

空港整備事業の紹介

イーハトーブの風によって

花巻空港事務所

花巻空港では、平成21年春の供用開始を目指し、新ターミナル地区を現在整備しています。

新ターミナル地区では、エプロン（駐機場）、及び滑走路からエプロンへの誘導路の舗装が終了、現在は誘導路グルーピング（排水溝）工事、飛行場灯火の設置工事、構内道路・駐車場工事を実施しています。

また、1月末には新ターミナルビル工事が着工し、着々と新ターミナル地区の整備が進んでいます。



新設エプロン照明灯柱



クレーン2台で柱の建て込み



吹雪の中での組み立て



投光器の取り付け

この新エプロンに、「エプロン照明灯柱」を設置しました。

灯柱は、ランプ交換など保守管理の軽減及び安全性を確保するため、投光器を設置する架台が地上付近まで昇降出来る一括昇降式とし、保守性・経済性に優れたバランスウェイト方式を採用しました。

バランスウェイト方式は、投光器設置架台とウェイトが重量バランスをとることで、小出力の電動機でバランスウェイトを上下させ、それにより投光器設置架台を昇降させるものです。

高さ25m×2基、20m×1基、17m×3基、合計6基のエプロン照明灯柱が、来春に新エプロンで航空機を出迎えます。



点灯状況(照度測定)